

## 第 17 回日本歯科色彩学会総会・学術大会を終えて

第 17 回日本歯科色彩学会総会・学術大会

大会長 花田晃司

準備委員長 木暮ミカ

平成 21 年 7 月 25 日（土）、26 日（日）、明倫短期大学主管で、第 17 回日本歯科色彩学会総会ならびに学術大会を新潟で開催致しました。25 日は学術大会に先立ち、「みなとびあ新潟市歴史博物館」にて、ホワイトニングの対極に位置する「お歯黒の文化史」について、ポーラ文化研究所の津田紀代先生より大変興味深いご講演をいただきました。この講演は市民公開講座としてテレビ・雑誌等で参加者を募りましたところ、一般参加者を併せて 124 名のご参加をいただき、立ち見が出るほど大盛況でした。その後行われました懇親会では、新潟自慢の地酒・地ワインの試飲会や、本会に合わせた彩り豊かなメニューの数々に、多くの先生から「新潟はやっぱりお酒や魚が美味しいですね」と声をかけて頂きました。懇親会の途中では、今春、瑞宝中綬賞を叙勲されました片山伊九右衛門先生の祝賀会もサプライズ企画で行いました。当日は曇り空でしたが、幸いなことに、日没直前の一瞬だけ色鮮やかな「新潟の夕焼け」を堪能することもできました。26 日の総会・学術大会は「新潟市民プラザ」にて開催され、174 名の方々にご参加をいただきました。口頭発表 5、ポスター発表 10 と演題にも恵まれ、発表して頂きました先生方には厚く御礼申し上げます。特別講演では、鹿野 宏先生（株式会社 Lab）から「デジタルカメラを使いこなす第一歩。」と題してご講演いただき、ライブデモでは本学の衛生士学科 3 年生の渡部 桜さんがモデルとして登場し、講演に花を添えてくれました。久光 久会長はじめ多くの参加者、そして本学スタッフのご尽力によって、今大会を成功裡に終えることができました。本当に有り難うございました。



①テレビ CM



②懇親会場



③祝賀会



④特別講演

1. 第 18 回総会・学術大会（詳しくは 3P12）  
日 時：2010 年 7 月 23 日（金）・24 日（土）  
場 所：東京医科歯科大学（大会長：天笠光雄教授）
2. 見学会（詳しくは 10P と折込）  
日 時：2010 年 1 月 30 日（土） 14:30 から  
場 所：原宿デンタルオフィス（講師：山崎長郎先生）

## 総務関係報告

### 1. 会員数について (2009年9月現在)

名誉会長：1人 名誉会員：3人 一般会員：210人 賛助会員：9社

### 2. 会務

2007年11月13日：平成19年度第3回常任理事会 (昭和大学病院入院棟17階第2会議室)

11月13日：見学会委員会 (昭和大学病院入院棟17階第二会議室、ナナオ)

2008年1月21日：平成19年度第4回常任理事会 (昭和大学歯科病院2号棟第1会議室)

2月1日：歯科色彩学会 ホームページ リニューアル改訂

3月13日：編集委員会 (上野)

3月31日：歯科の色彩 Vol14(1)発行

5月26日：平成20年度第1回常任理事会 (昭和大学歯科病院2号棟第1会議室)

6月15日：ニュースレター発行 (No45)

7月26～27日：第16回歯科色彩学会 (じゅうろくプラザ)

7月26日：平成20年度第2回常任理事会 (じゅうろくプラザ)

7月26日：平成20年度理事・評議員会 (じゅうろくプラザ)

7月27日：平成20年度総会・学術大会 (じゅうろくプラザ)

9月30日：ニュースレター発行 (No46)

10月20日：平成20年度第3回常任理事会 (昭和大学病院入院棟17階第二会議室)

2009年1月17日：平成20年度第4回常任理事会 (東京歯科大学市川総合病院)

1月17日：見学会委員会

(東京歯科大学市川総合病院眼科 角膜センター・アイバンク、島崎潤先生)

2月14日：編集委員会 (東京医科歯科大学1号館6階)

5月14日：平成21年度第1回常任理事会 (昭和大学歯科病院2号棟第1会議室)

5月27日

7月25日：平成21年度第2回常任理事会 (歴史博物館みなとぴあ)

7月25日：平成21年度理事・評議員会 (歴史博物館みなとぴあ)

7月25日：片山伊右九右衛門先生の瑞宝中綬賞受賞祝賀会

7月26日：平成21年度総会・学術大会 (新潟市民プラザ)

## 日本歯科色彩学会 平成20年度 総会議事録(案)

日時：平成21年7月26日(日) 11:50～12:20

場所：新潟市民プラザ

### I. 開会

### II. 大会長挨拶

花田大会長より挨拶があった。

### III. 会長挨拶

久光会長より挨拶があった。

### IV. 議長、議事録署名人選出

議長に新海理事が選出された。また議事録署名人に市村理事、森理事が選出された。

### V. 報告事項

#### 1. 総務・庶務報告

会長より報告があった。(別紙参照)

#### 2. 財務報告

会長より報告があった。

#### 3. 編集委員会

会長より、二重投稿・二重発表について、歯科に色彩16巻投稿の受け付けについて報告があった。

4. ニュースレター委員会  
会長から、次回の発行（9月発行予定）について報告があった。
5. ホームページ委員会  
会長より報告があった。
6. 講習会委員会  
会長より報告があった。
7. 見学会委員会  
会長より報告があった。来年の1月は原宿デンタルオフィスを企画（別紙参照）
8. 表彰選考委員会  
会長・桃井常任理事から優秀論文と第16回大会一般発表優秀者について報告があった。  
（優秀論文）：「陶材とコンポジットレジンのTP値」  
池見宅司  
（優秀発表）：「オフィスブリーチング後のヒトエナメル質の透過光強度分布について」  
藤本将幸
9. 認定士委員会  
会長から報告があった。
10. 会則検討委員会  
会長から報告があった。  
二重投稿・二重発表について
11. 第17回学術大会  
会長から第17回大会の抄録集の差し替えなどの報告があった。
12. 第18回学術大会  
第18回日本歯科色彩学会総会・学術大会の開催場所、日時は下記のとおりとなった  
開催校：東京医科歯科大学  
開催場所：東京医科歯科大学  
開催日程：平成22（2010）年7月23日（金）、24日（土）  
大会長：天笠光雄
13. その他

## VI. 審議事項

1. 新役員および新委員会・委員について  
上記について審議の後、承認を得た。（別紙参照）
2. 優秀論文選考委員会→表彰選考委員会に変更
3. ニュースレター委員に斉藤常任理事、元呑常任理事を追加するとの事
4. 2008年度（平成20年）本部会計および認定士会計決算（案）の件  
向山常任理事から本部会計決算について、阪副会長から認定士会計決算についての報告があり、また、神津・片山監事から監査報告があり、審議の結果、承認された。（別紙参照）
5. 2009年度（平成21年）事業計画について承認を得た。（別紙参照）
6. 2009年度（平成21年）本部会計および認定士会計予算（案）の件  
向山常任理事から本部会計予算について、阪副会長から認定士会計予算についての報告があり、審議の結果、承認された。（別紙参照）
7. 役員推薦の件  
久光会長から澤田智史評議員、澤田智慈評議員を新理事に理事会で承認した報告があった。  
（理事承認は、理事会で最終決定）
8. 除名処分の件  
会則に則って3年間の会費未納につき、伊集院 正俊、大平 伸人、関 秀明、王 新知、  
柏木 宏介、藤井 孝政、鷹尾 智典（敬称略）を除名処分にすることが承認された。
9. 次期会長について  
次期会長に池見宅司副会長が推薦され、承認された。

## VII. 閉会

2008年度 日本歯科色彩学会 決算報告 2008年4月1日～2009年3月31日

歳入の部	科 目		2008年度予算	2008年度決算	増減(△は超過)	執行率	備 考
	款	項					
歳入の部	1、会費収入		2,165,000	1,340,000	825,000	62%	
		1,入会金	75,000	20,000	55,000	27%	5,000×4名
		2,本年度会費	1,720,000	980,000	740,000	57%	10,000×98名 (会員数219名、納入率45%)
		3,過年度会費	100,000	130,000	△ 30,000	130%	10,000×13名
		4,賛助会費	270,000	210,000	60,000	78%	30,000×7社
	2, 事業収入		640,000	699,657	△ 59,657	109%	
		1,論文掲載料	400,000	395,157	4,843	99%	歯科の色彩14巻1号 6件
		2,広告掲載料	200,000	241,500	△ 41,500	121%	歯科の色彩14巻1号 5件
		3,講習・見学会等	40,000	63,000	△ 23,000	158%	見学会会費3,000×21
	3, 雑 収 入		45,000	37,448	7,552	83%	
		1,著作・印税等	40,000	35,052	4,948	88%	学術著作権協会 13,974 ク イント印税16,038 その他 5,040
		2,雑入	5,000	2,396	2,604	48%	銀行利息 2,396
	当期収入合計		2,850,000	2,077,105	772,895	73%	
前期繰越金		4,260,771	4,260,771	0	100%		
収入合計		7,110,771	6,337,876	772,895	89%		

歳出の部	科 目		2008年度予算	2008年度決算	増減(△は超過)	執行率	備 考
	款	項					
歳出の部	1、事業費		2,120,000	1,825,661	294,339	86%	
		1,学術大会運営費	500,000	536,590	△ 36,590	107%	第17回大会 明倫短期大学 500,000 16回大会不足分 36,590
		2,学会誌	1,070,000	901,080	168,920	84%	歯科の色彩第14巻1号(15号)
		3,ニュースレター費	70,000	50,691	19,309	72%	ニュースレター45号22,169 46号 28,522
		4,調査研究費	75,000	50,000	25,000	67%	学術会議歯科系学会連絡協議会費 50,000
		5,ホームページ維持費	105,000	105,000	0	100%	
		6,講習・見学会費	300,000	182,300	117,700	61%	講習会講師謝礼60,000 見学会講 師謝礼100,000 資料作成22,300
	2、管理費		670,000	563,053	106,947	84%	
		1,会議費	60,000	83,539	△ 23,539	139%	
		2,交通費	150,000	236,000	△ 86,000	157%	常任理事会3回 ,編集委員会2回
		3,渉外費	50,000	0	50,000	0%	
		4,通信連絡費	210,000	72,145	137,855	34%	ニュースレター郵送39,540 雑誌 郵送22,360 振込等10,245
		5,事務委託費	120,000	120,000	0	100%	事務局諸経費 10,000×12
		6,事務費	80,000	51,369	28,631	64%	封筒等32,212 文具2,182 消耗品 16,375 振込用紙印字600
	3, 雑 費		40,000	0	20,000	0%	
	4, 予 備 費		20,000	0	20,000	0%	

当期支出合計	2,850,000	2,388,714	461,286	84%	
当期収支差額	0	311,609	311,609	—	
次期繰越金	4,260,771	3,949,162	311,609	—	

上記 2008 年度収支決算は慎重監査の結果、相違ないものと認めます

2009 年 3 月 31 日 神津 瑛 印 片山伊九右衛門 印

2009 年度 日本歯科色彩学会 予算 2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月

31 日

歳入の部	科 目		2008年度予算	2009年度予算	増減(△は減)	増減率 (△は減)	備 考
	款	項					
歳入の部	1、会費収入		2,165,000	2,165,000	0	0%	
		1,入会金	75,000	75,000	0	0%	5,000×15名
		2,本年度会費	1,720,000	1,720,000	0	0%	10,000×215名×80%
		3,過年度会費	100,000	100,000	0	0%	10,000×10名
		4,賛助会費	270,000	270,000	0	0%	30,000×9社
	2, 事業収入		640,000	640,000	0	0%	
		1,論文掲載料	400,000	400,000	0	0%	
		2,広告掲載料	200,000	200,000	0	0%	
		3,講習・見学会等	40,000	40,000	0	0%	
	3, 雑 収 入		45,000	45,000	0	0%	
		1,著作・印税等	40,000	40,000	0	0%	
		2,雑 入	5,000	5,000	0	0%	
	当期収入合計		2,850,000	2,850,000	0	0%	
	前期繰越金		4,260,771	3,949,162	△311,609	△ 7%	
収入合計		7,110,771	6,799,162	△311,609	△ 4%		

歳出の部	科 目		2008年度予算	2009年度予算	増減(△は減)	増減率 (△は減)	備 考
	款	項					
歳出の部	1、事 業 費		2,120,000	2,120,000	0	0%	
		1,学術大会運営費	500,000	500,000	0	0%	
		2,学会誌	1,070,000	1,070,000	0	0%	
		3,ニューズレター費	70,000	70,000	0	0%	
		4,調査研究費	75,000	75,000	0	0%	
		5,ホームページ維持費	105,000	105,000	0	0%	
		6,講習・見学会費	300,000	300,000	0	0%	
	2、管 理 費		670,000	670,000	0	0%	
		1,会議費	60,000	80,000	20,000	33%	
		2,交通費	150,000	220,000	70,000	47%	
		3,渉外費	50,000	30,000	△ 20,000	△ 40%	
		4,通信連絡費	210,000	140,000	△ 70,000	△ 33%	
		5,事務委託費	120,000	120,000	0	0%	
		6,事務費	80,000	80,000	0	0%	
	3, 雑 費		40,000	40,000	0	0%	

4, 予備費	20,000	20,000	0	0%	
当期支出合計	2,850,000	2,850,000	0	0%	
当期収支差額	0	0	—	—	
次期繰越金	4,260,771	3,949,162	△ 311,609	△ 7%	

2008年度 日本歯科色彩学会 認定士委員会 決算報告 2008年4月1日～2009年3月31日

歳入の部	科目	2008年度予算	2008年度決算	増減(△は超過)	執行率	備考
	款 項					
	1.登録料収入	200,000	160,000	160,000	80%	
	1.申請料	50,000	10,000	40,000	20%	
	2.登録料	150,000	30,000	120,000	20%	30,000×1名
	3.更新料	0	120,000	0	-	20,000×6名
	2.事業収入	0	0	0	-	
	1.講習会参加費	0	0	0	-	
	2.その他	0	0	0	-	
	3.雑収入	0	3,727	△ 3,727	-	
	1.雑入	0	3,727	△ 3,727	-	銀行利息 3,727
	当期収入合計	200,000	163,727	36,273	82%	
	前期繰越金	2,757,161	2,757,161	0	-	
	収入合計	2,957,161	2,920,888	36,273	99%	

歳出の部	科目	2008年度予算	2008年度決算	増減(△は超過)	執行率	備考
	款 項					
	1.事業費	370,000	0	370,000	0%	
	1.講習会開催費	100,000	0	100,000	0%	
	2.出版物	150,000	0	150,000	0%	
	3.その他	120,000	0	120,000	0%	
	2.管理費	260,000	7,600	252,400	3%	
	1.会議費	50,000	0	50,000	0%	
	2.交通費	50,000	0	50,000	0%	
	3.費用弁償費	50,000	0	50,000	0%	
	4.通信連絡費	50,000	7,600	42,400	15%	切手¥100×40, ¥120×1, ¥140×22, ¥200×2
	5.事務費	60,000	0	60,000	0%	
	3.雑費	20,000	0	20,000	0%	
	4.予備費	200,000	0	200,000	0%	
	当期支出合計	850,000	7,600	842,400	1%	
	当期収支差額	△ 650,000	156,127	△ 806,127	-24%	
	次期繰越金	2,107,161	2,913,288	△ 806,127	138%	

2009年度 日本歯科色彩学会 認定士委員会 予算 2009年4月1日～2010年3月31日

歳入の部	科目	2009年度予算	2008年度予算	増減(△は減)	増減率(△は減)	備考
	款 項					
	1.登録料収入	400,000	200,000	200,000	100%	
	1.申請料	50,000	50,000	0	0%	10,000×5名
	2.登録料	150,000	150,000	0	0%	30,000×5名
	3.更新料	200,000	0	200,000	-	20,000×10名
	2.事業収入	0	0	0	-	
	1.講習会参加費	0	0	0	-	
	2.その他	0	0	0	-	
	3.雑収入	0	0	0	-	
	1.雑入	0	0	0	-	
	当期収入合計	400,000	200,000	200,000	100%	
	前期繰越金	2,913,288	2,757,161	156,127	6%	
	収入合計	3,313,288	2,957,161	356,127	12%	

歳出の部	科目	2009年度予算	2008年度予算	増減(△は減)	増減率(△は減)	備考
	款 項					
	1.事業費	370,000	370,000	0	0%	
	1.講習会開催費	100,000	100,000	0	0%	
	2.出版物	150,000	150,000	0	0%	
	3.その他	120,000	120,000	0	0%	
	2.管理費	260,000	260,000	0	0%	
	1.会議費	50,000	50,000	0	0%	

	2.交通費	50,000	50,000	0	0%
	3.費用弁償費	50,000	50,000	0	0%
	4.通信連絡費	50,000	50,000	0	0%
	5.事務費	60,000	60,000	0	0%
	3.雑費	20,000	20,000	0	0%
	4.予備費	200,000	200,000	0	0%
	当期支出合計	850,000	850,000	0	0%
	当期収支差額	-450,000	-650,000	200,000	-
	次期繰越金	2,463,288	2,107,161	356,127	17%

## 平成 21 年度事業計画

1. 総会・学術大会の開催
2. 雑誌の発行
3. ニュースレターの発行
4. 会員の増強促進
5. 優秀論文、優秀研究発表の表彰
6. 認定士制度の充実
7. 講習会の充実
8. 色彩関係の研究所見学の施行
9. 歯科色彩学の啓蒙
10. 歯学部および歯科技工士専門学校・歯科衛生士学校における歯科色彩学カリキュラム導入の促進
11. 国内、国外との学術交流の促進

## 新役員紹介 2009年(平成21年)4月1日から2011年(平成23年)3月31日まで(敬称略)

会長(1) 久光 久 副会長(3) 池見宅司・片山 直・阪 秀樹

監事(2) 片山 伊九右衛門・神津 瑛

常任理事(17)

天笠光雄・勝海一郎・加藤喜郎・桑田正博・木暮ミカ・齋藤 誠・末瀬一彦・東光照夫・中澤 章  
永井茂之・細矢由美子・堀田正人・宮崎 隆・宮崎真至・向山賢一郎・元呑昭夫・桃井保子

理事(52)

英保武志・天野義和・市村 葉・岩崎 覚・海老原 隆・大金 誠・大西孝宣・岡田(岩崎) 嘉代  
小川勝久・金子 潤・鎌田政善・川添堯彬・鬼島成和・久保茂正・倉知正和・高 承志・河野 篤  
佐々木重夫・澤田智史・澤田智慈・下河辺宏功・新海航一・鈴木伸宏・高橋洋子・高宮紳一郎・竹内 操  
田中 誠・寺川國秀・寺下正道・中城基雄・中山友克・永澤 栄・西村耕三・橋口英生・花田 晃治  
坂 清子・平井義人・細田幸平・松浦智二・松尾 通・宮田 侑・村井宏隆・森 純信・山鹿洋一  
山口龍司・山崎信夫・山田和伸・山本宏治・横瀬敏志・吉田周平・葎田秀夫・和田弘毅

評議員(23)

天谷哲也・安藤 進・五十嵐 洋・池島 徹・江間誠一郎・小川恵治・小澤有美・片岡繁夫・加藤愛子  
斉藤晶夫・佐藤穂子・白石 充・進藤聖士・鈴木純二・中浦清人・野島 洋・東 竜太郎・三次義和  
椋梨兼彰・柳川(広瀬) 直子・遊亀裕一・吉野 諭・吉村 浩一

名誉会長(1) 橋口緯徳 名誉会員(3) 生田博康・腰原 好・和久本貞雄

幹事(2) 玉岡慶鐘・星野睦代

事務局(1) 野澤ゆり子

## 各種委員会委員とお知らせ 平成21年4月～平成23年3月(敬称略)

1. 総務担当 (東光)
  - 1) 学会事務の総括
  - 2) 会員の増強
2. 庶務担当 (主:星野 副:玉岡)
  - 1) 会議の召集と会場探し、式次第・会議録の作成
  - 2) 慶弔
  - 3) 雑誌、ニュースレター、製本の配布
  - 4) その他
3. 財務担当 (委員長:向山 委員:勝海、加藤)
  - 1) 決算・予算の組み立て、執行
  - 2) 年度の決算・予算の報告  
監事による監査(片山(伊)、神津)

4. 編集委員会（委員長：池見 委員：片山(直)、勝海、加藤、斉藤、東光、元呑、桃井）  
歯科の色彩への論文投稿を受け付けております。  
多くの皆様からの投稿をお待ちしております
5. ニュースレター編集委員会（委員長：片山(伊) 委員：斎藤、元呑）
6. ホームページ委員会（委員長：木暮 委員：末瀬、永井、久光、向山、元呑）  
ニュースレターのバックナンバーを vol.1 からダウンロードできるようになりました。  
欠番もありますので、お持ちの方がございましたら、木暮委員長までお送りくだされば幸いです。
7. 講習会委員会（委員長：細矢 委員：片山(直)、堀田）
8. 見学会委員会（委員長：中澤 委員：木暮、永井）
9. 表彰選考委員会（委員長：桃井 委員：池見、阪、勝海、細矢、宮崎(隆)、元呑）
10. 認定士委員会（委員長：阪 委員：天笠、片山(直)、宮崎(真) 主事務：中山理事）  
今年度、新に澤田智史先生（神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座）と久保茂正先生（くぼ歯科・くぼ鍼灸院）の2名が認定士審査に合格されました。  
認定士委員会では申請を随時受け付けております。皆様の積極的なお申し込みをお待ちしています。
11. 会則検討委員会（委員長：堀田 委員：池見、勝海、木暮）  
二重投稿、二重発表については、雑誌「歯科の色彩」に掲載予定です。

## 優秀発表賞をいただいて

藤本将幸 朝日大学歯学部口腔機能修復学講座：ポストドクター（PD）

演題：「オフィスブリーチング後のヒトエナメル質の透過光強度分布について」

第16回学術大会（山本宏治大会長、朝日大）の一般演題で優秀発表賞をいただき光栄に思います。この場をお借りして、今回の発表に御尽力いただいた朝日大学保存第一研究室堀田正人教授、(株)松風の中塚さん、木本さん、宮田さんに感謝の意を表したいと思います。白く美しい歯は人々のQOLの向上に欠かせない要因となっており、歯面研磨、漂白、ラミネートベニア修復、前装冠による歯冠補綴などが行われています。有髄歯の漂白は健全な歯質を切削することのない究極の Minimal Intervention（最小限の侵襲）であるため、変色あるいは着色した歯の色を改善する方法として、社会的に高い関心を集め、臨床の場で急速に広まり、時代のニーズに応えるものとなりつつあります。エナメル質は半透明であり、歯の色彩を表現するには透明度が大きく関係してきます。漂白におけるメカニズムはまだ明らかにされていませんが、漂白における最大の関心事は歯質の色彩変化であります。歯の色彩を表現するには透明度が大きく関係しており、本実験では漂白後のヒトエナメル質の透過光強度分布の変化を調べました。結果は漂白することにより、ヒトエナメル質の透過光強度分布に変化はみられますが、漂白回数を重ねるにつれ光拡散性が大きくなるわけではありませんでした。今後の課題として、表面色、光沢度、表面粗さの変化などを測定して、その関連性について検討し、さらにエナメル質のみでなく、象牙質も含めた実験も行う予定です。優秀発表賞をいただいたことに甘んじず、これからもさらに研鑽を積んでいくつもりであります。これからも皆様にはお世話になるとは思いますがよろしくご指導をお願いします。

## 「優秀論文賞をいただいて」

池見宅司 日本大学松戸歯学部

論文題名：「陶材とコンポジットレジンのTP値」

この度は、この様な素晴らしい賞を頂き、共著者ともども大変嬉しく思っている。私共の教室では、歯質の着色条件等の違いがあっても、患歯に近似した色と透明感の表現ができるコンポジットレジン開発を最終目標として、色、測色器、フィルター、TP値等について実験を行ってきた。そのコンポジットレジンに関しても、色の種類を少なくし、特に、オペクレジンとの組合せを最小限にできる材料を目指している。そこで、これまでは製造元まかせであった顔料の調合についても当教室で行い、試作オペクレジンあるいはコンポジットレジンを検討できるまでになってきた。これまで歯科大学で顔料を含めたコンポジットレジンを作製したのは当教室が初めてではないかと思われ、試作に関与した大学院生を誇らしくも感じている。まだ、某業者のご指導を頂きながら真似ごとの域を出ないが、学べたことは数多くあり、個人的には一段と色彩学に対する興味と研究領域が拡大した様な気がしている。コンポジットレジン製造業者にとっては、その色や透明感が最重要課題であることは言うまでもないことと考え



られるが、利用者である我々サイドではそれほどまでの認識を有していないことも事実である。歯科医療関係者の間で、色彩学への興味を有する有能な研究者が増え、歯あるいは歯科材料の論理的な進展がなされることを望んでいる。コンポジットレジンの色について検討すべき課題は山積しており、まずは、客観的な測色が可能な測色器の統一化を図らなければならないと考えている。そして、その評価に透明度を加味する必要性もあり、今後は本色彩学会で歯あるいは半透明性材料の測色法の統一見解を発信することができればと夢に見ている。

## 「春の叙勲」片山伊九右衛門先生が瑞宝中綬章を受勲

編集部

本年4月29日・春の叙勲で、監事片山伊九右衛門・明海大名誉教授（79）が瑞宝中綬章を受けられました。長年の教育・研究などへの功績と学術振興に寄与した功績などが評価されてのご栄誉です。本会では新潟での第17回学術大会の懇親会で受章お祝いをいたしました。心よりお祝い申し上げます。片山先生には無理にお願いして受章体験記を書いていただきましたので、ご紹介させていただきます。

### 受章体験記

監事 片山 伊九右衛門

平成21年春の叙勲に際して、はからずも瑞宝中綬章授受の栄に浴しました。

叙勲の閣議決定は本年4月21日、郵送にて翌22日に文部科学省から内示がありました。4月29日の新聞報道（全国版）後は多くの方から祝意を寄せていただきました。また、本会第17回新潟学会では懇親会におきまして、祝賀会も戴き感激です。感謝申し上げます。（1Pの写真③）

「今年は新型インフルエンザで叙勲式が中止になるかもしれない」との案内が文部科学省からあったものですから、天皇陛下の拝謁を楽しみにしていた私はヒヤヒヤしていたのですが、5月14日の10時半から、東京プリンスホテルで文部科学大臣からの伝達式が無事に行われました。勲記には「日本国天皇は片山伊九右衛門に瑞宝中綬章を授与する 皇居において璽をおさせる」記されておりました。璽とは国の印鑑のことです。印の大きさは10cm×10cmです。皇居に赴く為の勲章は職員が一人一人の胸に付けてくれました。

11時に文部科学省が用意してくれたバスでホテルから皇居へ向かいました。道中、観光バスさながらの詳しい地域説明がありました。バスは坂下門から入り、一般参賀で使われる宮殿東庭が駐車場になっていました。傍には我々の見慣れている石造りの二重橋でなく、奥の二重橋（正門鉄橋）を見ることもできました。

天皇陛下の拝謁は13時半。『この度はおめでとう。皆には長年、国のために、国民のために、それぞれの務めに精励し、立派な功績を挙げてくれたことを満足に思います。どうか今後とも、国家社会のために一層尽力してくれることを希望します。皆くれぐれも体を大切に。』との陛下のお言葉は厳かで感動を覚えました。ご退席には、杖や車椅子の受章者一人ひとりに「お身体を大切に」と声をかけられておられました。その後は受章者十数名ずつで記念写真を撮りました。

陛下からは菊のご紋入りの饅頭2個と「皇室」という御本を授かりました。以前は恩賜のタバコが配られていましたが、平成18年に廃止されたそうです。帰りのバスでは皇居の東御苑を見せていただきました。ゴミ1個、雑草1本も見ませんでした。平川門から出て東京プリンスホテルまで送っていただきましたが、ホテルの後ろに聳え立つ東京タワーが印象的でした。

医科歯科系大学教授の受勲年齢は79歳であり、世界最高である日本の長寿生命の男性も平均79歳。丁度この歳まで長生きができたのは、我が家の遺伝子のお蔭だと感謝する次第であります。また、今回の瑞宝中綬章受賞者に歯科大学名誉教授は11名いますが、私に活躍の場を与えてくださった明海大学、日本歯科色彩学会にも感謝の気持ちで一杯です。

## アメリカ補綴歯科学会 Academy of Prosthodontics 桑田正博先生 名誉会員就任のお知らせ

本会常任理事の桑田正博先生が 歯科界における貢献を認められ、アメリカ補綴歯科学会の最高位の賞である『名誉会員』に推挙されました。歯科医師以外では、インプラントの開発者であるプローネマルク氏と、歯科技工士である桑田正博先生だけであり、このことは、世界中の歯科技工士にとっても快挙と言えます。先生のこれまでの歯科界における貢献を称えるとともに、今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

ちなみにアメリカ補綴歯科学会は 1918 年アメリカで初めてできた学会であり、学会メンバーは Honorary(名誉)、Life (終身)、Active(正会員)、Associate (準会員) からなり、正会員数は 70 名、会員数は 130 名と入会したくても入れない学会として知られています。

5 月にはシカゴにおいて授与式が行われました。9 月 5 日、都内ガーデンパレスにおいて祝賀会が催され、本会からは久光 久会長、阪 秀樹副会長、片山伊九右衛門監事、末瀬一彦常任理事、そして河野 篤、田中 誠、寺川國秀、中山友克、坂 清子、細田幸平、山鹿洋一、和田弘毅(代) 各理事がお祝いに駆けつけました。

## 新会員紹介 入会有難うございます。(敬称略)

会番号	氏名	所属	入会日
10487	三好 博文	和田精密歯研株式会社	09.4/1
10488	野坂 祐介	生田歯科診療所	09.4/1
10489	関根 哲子	日本大学松戸歯学部う蝕抑制審美治療学講座	09.4/1
10490	根本 章吾	日本大学松戸歯学部う蝕抑制審美治療学講座	09.4/1
10491	周 泰	日本大学松戸歯学部う蝕抑制審美治療学講座	09.4/1
10492	古関 貴敏	新潟大学歯学部卒	09.4/1
10493	片岡 伸浩	東京医科歯科大学医歯薬総合研究科顎顔面外科学分野	09.4/1
10494	前田 慶子	東京医科歯科大学医歯薬総合研究科顎顔面外科学分野	09.4/24
10495	道 泰之	東京医科歯科大学医歯薬総合研究科顎顔面外科学分野	09.6/4
10496	奥岡 徹	明海大学歯学部保存修復学分野	09.6/26
10497	小西 康三	小西デンタルクリニック	09.6/26

## 見学会委員会 平成21年度見学会のお知らせ

今年度の見学会は、原宿デンタルオフィスの見学と講演会です。山崎長郎先生についてはご紹介するまでもないと思いますが、日本を代表する臨床家である先生の新しい診療室を待合室、技工室など院内設備を含め見学させていただき、さらに修復治療に対する考え方を解説していただく予定です。

臨床家はもとより、学校関係者、歯科技工士の皆様、若い歯科医師の方々にとってまたとない機会であると思います。土曜日の午後からの開催ですので、皆様お誘いの上、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

(見学会委員会 中澤 章)

## 修復治療の新たな展開

山

崎 長郎 先生 講演要旨

現代の歯科修復治療には、マテリアルの革新・開発により大きな変化がもたらされている。しかも、その発展と進歩の速度は、私達の予想を遥かに超えるものとなっている。

一方、患者サイドにおいても、様々な媒体・分野から情報・知識を得て、従来の修復治療より更に一歩進んだ審美性を望む声が高まりつつある。

我々歯科医は、これらの変化しつつある状況を確実に把握し、新しい世紀の新たな審美修復治療の形を確立していかなければ、この21世紀に取り残されることになるであろう。

歯科修復治療のステップアップを目指す先生方の為、最新の審美修復治療の手法と背景が、過去の修復治療からどの様に変化してきたか、それに付随する治療計画の変更はあるのか、また、使用するマテリアルの正しい選択法・使用法などを中心に、あらゆる角度から新世紀にふさわしい修復治療を解説しようと思う。

State of Art Esthetics 卓越した審美性の創出  
Restorative Update 最新のマテリアルとその問題点

## 編集後記

2001年度9月号をお届けします。今回から、ニュースレターの新しい委員に斉藤誠先生と元呑昭夫先生をお願いしました。斉藤先生は雑誌編集委員でありますので、雑誌とニュースレターでの重なりや抜けを防げます。元呑先生には歯科以外の新しい色彩についての情報を期待しております。

今回は、新潟での総会の決議事項が多くて、他の記事が少なくなりました。残りは次号にまわします。

今後とも総務・編集委員会・HP委員会と密なる連携をして、良き記事とする覚悟です。会員の皆様のご協力よろしくお願ひします。

片山伊九右衛門委員長、齊藤誠委員、元呑昭夫委員

## 日本歯科色彩学会 平成21年度見学会

日時： 平成22年1月30日（土） 午後2時30分から  
受付開始午後2時10分

場所： 原宿デンタルオフィス  
東京都渋谷区渋谷2-1-12 パシフィックスクエアビル4F TEL  
03-3400-9405

講師： 原宿デンタルオフィス 院長  
東京 SJCD 最高顧問・会長、SJCD インターナショナル会長  
山崎 長郎 先生

演題： 修復治療の新たな展開

会費： 会 員 5000円  
非会員 12000円  
懇親会 8000円

※会費は当日徴収させていただきます。

なお 今回の見学会から学会に入会の方は会員として取り扱います。受付にて学会入会手続きをしてください。4月からの次年度年会費に充当します。会員をご紹介ください。

※事前の申込みが必要です。下記申込書に記入の上、FAXまたは郵送してください。

申込先：  
〒135-0002 東京都江東区住吉2-25-2 中澤歯科クリニック  
TEL・FAX 03-3846-4618

---

日本歯科色彩学会 2010.1.30 の見学会に申込みます。

ふりがな  
お名前

会員・今回から会員・非会員 ○をお付けください。  
歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・その他（ ）

住所・所属  
〒

電話  
FAX  
メールアドレス

懇親会 参加・不参加 ○をお付けください。